

2006年3月30日

報道関係各位

**ローズヒップ (*Rosa canina* L. 偽果) の
抗肥満作用成分に関する研究成果を
日本薬学会で発表**

ローズヒップ抽出物に内臓脂肪を低減させる効果

森下仁丹株式会社

森下仁丹株式会社(本社:大阪市中央区/代表取締役:相原之壽)は、京都薬科大学吉川雅之教授らとの共同研究でローズヒップ抽出物に内臓脂肪減少に基づく抗肥満活性を見出すとともに活性成分を同定したので、その薬理活性とともに併せて、日本薬学会・第126年会(2006年3月28日~3月30日、仙台市)にて発表します。

【発表の概要】**演題**「ローズヒップ (*Rosa canina* L. 偽果) の抗肥満作用成分」

発表者:森下仁丹 二宮清文、京都薬科大学 吉川雅之ほか

研究の背景

生活習慣病の予防・改善には、肥満症、特に内臓脂肪を低減させることが重要であると考えられます。ローズヒップ (*Rosa canina* L. (イヌノイバラ) の偽果) は、近年我が国においても、ビタミンCの補給などを目的に飲料や食品として利用されています。我々はローズヒップ抽出物に内臓脂肪減少に基づく抗肥満活性を見出すとともに活性成分を同定したので、その薬理活性とともに併せて報告します。

研究の要約

ローズヒップ (*Rosa canina* L.(イヌノイバラ)の果実)抽出物に内臓脂肪を低減させる効果があることを明らかにしました。ローズヒップは、ビタミンCの補給などを目的に飲料や食品に利用されていますが、その果実をまるごと抽出したエキスをマウスに継続して与えたところ、投与期間中のマウスの体重増加を抑え、内臓脂肪の蓄積を抑制することが明らかになりました。さらに、果実を果肉(果皮)と種子に分けて同様の試験を行ったところ、その作用は種子の方が顕著であることが判明し、種子抽出物からテリロサイドなど7種の成分を同定しました。主要成分はテリロサイドであり、単独でも体重増加や内臓脂肪の蓄積を抑制することを確認しました。

この作用は、ローズヒップ果実の新たな効果として初めて見出したものです。生活習慣病の予防・改善には、肥満症、特に内臓脂肪を低減させることが重要であると考えられ、昨年診断基準が発表された、メタボリックシンドローム等への有効性が期待されます。

方法と結果

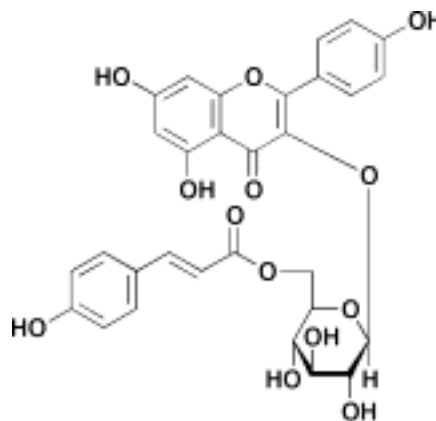
ddY 系雄性マウス (10 週齢) へ、*R. canina* L. 偽果抽出物(ローズヒップの果実をまるごと抽出したエキス)を投与 (200 mg/kg/day, *p.o.*) したところ、有意な体重増加の抑制と内臓脂肪組織重量の減少が認められました。さらに偽果(ローズヒップ)には、果肉 (果皮) 部分と種子があることから、これら両部位からの抽出物の活性を比較検討した結果、活性は種子に集約していることが判明しました。そこで、種子抽出物から、含有成分を精査した結果、tiliroside(ティリロサイド)など7種の成分を単離・同定しました。主要成分 tiliroside(ティリロサイド) のマウスへの経口投与 (0.1 10 mg/kg/day) は、投与期間中のマウスの体重増加を有意に抑制するとともに、内臓脂肪の蓄積を有意に抑制しました。

Effect of Tiliroside on Accumulation of Visceral Fat in Mice

Dose (mg/kg/day, <i>p.o.</i>)	Visceral fat (mg)
Control	2424±235
0.1	1663±181*
1	1057±159**
10	998±52**

Mean±SEM, N=5-7, * $p<0.05$, ** $p<0.01$ vs. control

「マウスの内臓脂肪の蓄積に対する Tiliroside の影響」



「ティリロサイドの構造式」

結論

ローズヒップ (*Rosa canina* L.(イヌノイバラ)の果実) 抽出物に内臓脂肪を低減させる効果があることが明らかになりました。

日本薬学会について

日本薬学会は、「くすり」に関係する研究者や技術者が、学術上の情報交換を行い、学術文化の発展を目的とする学術団体です。明治13年(1880年)、我が国では最も古い学会の一つとして誕生しました。約30名でスタートし、現在では会員数2万人を超える学会に成長しました。新しい医薬品の開発・製造、安全性の確認、臨床への供給など薬を使ってさまざまな病気を克服するという目的のもと、会員の情報源として機能しています。

【本件についてのお問い合わせは】

森下仁丹株式会社 研究学術部 TEL06-6761-1136 FAX06-6761-7150

【リリースについてのお問合せは】

共同 PR 株式会社 担当：長尾・本澤 TEL03-3571-5275 FAX03-3571-5380